

What a Wonderful World

-7年目の Happy Doll Project を終えて -

みんなの願いを乗せたハッピードールたちと、旅を始めて早7年。

これまで何万人の子どもたち、人々と出会い、創り、笑い、泣き、心を通わせたことでしょう。それを今、温かい記憶や熱くこみ上げる感動とともに、しみじみ振り返っています。創造力の無限大と、人間の可能性を信じさせてくれる命の作品 "ハッピードール" との歴史が、自分にとって何ものにも代えがたい、重厚で大切な心の財産になっていることを、今、改めて実感しています。

今年も、病院や仮設住宅でたくさんの素敵なアーティストたちに出会いましたが、中でも病院の少年との出会いが忘れられません。体中に大やけどを負った痛々しい少年が、指も溶けて一塊になった手で少しずつホチキスを押しして完成させた作品！いつのまにかうつむいていた顔もキッと上を向き、包帯から片方だけ出ている瞳はキラキラ輝いていました。そして不屈のこの少年は、一塊の手を何度も私の拳にぶつけて喜びのガッツを表現してくれました。どんな状態でも、無から何かを生み出す力を人間は持っている！そのことを改めて、少年は確信させてくれました。

かわいかったり、可笑しかったりする、世界でたった一つのハッピードール。

でも、この小さなハッピードールが集合すると、朗らかで、でもちょっと切ない願いのシンフォニーが奏でられ、温かく莫大にパワーアップするようです。それは、度重なる病の再発で心が折れそうな患者さんを奮い立たせ、患者さんたちのために全力で奮闘しよう！と医師を動かし、明日への一歩になったと被災地の人を感動させ、すべての人が幸せになるようにとこどもの心をやさしくしてきました。

創る人をハッピーにし、それを支える人をハッピーにし、作品を見る人をハッピーにしてきたハッピードールプロジェクト。どうかこの本を手にする方の元へもハッピーが届きますようにと、心から願っています。

今年もこの活動が続けられるにあたっては、ご協賛くださいましたサノフィ株式会社様をはじめ、たくさんの皆様のお力を頂きましたことに、心から感謝申し上げます。

みんな みんな 元気になあれ。

心をこめて

2012年11月22日

Founder of Happy Doll Project

高橋雅子

